

大好き図書館！

秋の読書週間イベントが終了しました

10月25日～11月6日の「秋の読書週間」中に、次の行事を行いました。多くのご参加、ありがとうございました。

◆トショカクエストⅢ「カードバトル」
小さな子供たちもたくさん参加してくれました。参加した子供たちからは、「バトルに負けてもガチャガチャを回して景品がもらえたので、楽しかった！」と好評でした。



◆フォトコンテスト「私の好きな日田！」
利用者が撮影した写真を展示。投票で見事1位に選ばれたのは、日田駅構内の赤い列車の写真でした。



◆いつまでも本をキレイに！
「愛読書ブックフィルム掛け」体験者から「ほかの愛読書にもフィルム掛けをしたくなった」「破れたページの修復も体験してみたい」といった感想が寄せられました。
「マナーアップキャンペーン」本をきれいに使ってもらうため、本の汚れを重点に展示しました。



来館者の皆さんは、感染症対策をお願いします。

開館時間やサービスの内容は状況によって変更になる場合があります。詳細は、右記二次元コードから確認、又は図書館にお問い合わせください。



おいでよ！おはなし会

□とき
1月14日(土)
午後3時～
1月28日(土)
午前11時～
□ところ
児童コーナー



1月の休館日(○…休館日)

日	月	火	水	木	金	土
①	②	③	④	5	6	7
8	9	⑩	11	12	13	14
15	⑬	17	18	19	20	21
22	⑮	24	25	⑯	27	28
29	⑳	31				

新刊情報

自分で読める
どうして野菜を食べなきゃいけないの？
せのおしんや／絵 川端輝江／監修
新星出版社／出版



親子でいっしょに学べる！いちばんやさしい栄養学。子どもたちのソボクな疑問を、この1冊で解決！栄養を知れば、食べることがもっと楽しくなる！この本では、実際の食べものがキャラクターで登場し、どんな栄養素がふくまれているかがイラストで楽しく学べます。野菜嫌いの克服や、食育にもぴったりの1冊。親子で楽しく食べものや栄養のことを、知ってくださいね。

手話で話そう

今月の手話⑩ 「あけましておめでとう」「笑顔(笑う)」

今回の紹介者は、手話通訳者の神田さつきさんです。

動画も公開しています。一緒にやってみましょう！



あけましておめでとう



「お正月」「あけまして」は、両手の人差し指を寝かせて平行にし、上下に並ぶようにします。漢字の「一月一日」を表しています。「おめでとう」は、すばめた両手を上げて、パッと開きます。「祝う」や「おめでとう」という意味を表しています。

笑顔(笑う)



両手の親指とはほかの4指を顔の横で、軽く揉むようにします。ニコニコしているように、口角が上がる様子を表しています。

※手話表現は、地域や年代で多少異なる場合があります。 ☎社会福祉課障害福祉係 ☎8290 (市役所1階)

世界遺産登録を目指す「咸宜園」 - 近世日本の教育遺産として -

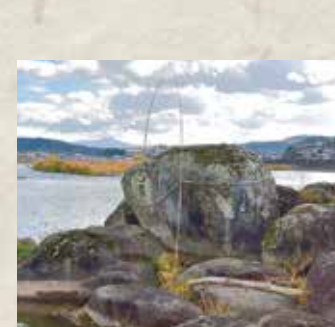
淡窓・咸宜園と交流のあった文人・墨客たち⑬

廣瀬淡窓が幼少のころ関係のあった人々 ~ 豪潮律師 ~



☎世界遺産推進室(咸宜園教育研究センター内) ☎0268

寛政12(1800)年の冬の初め頃、肥後の豪潮律師(※)が日田代官・羽倉秘救の招きによって、日田を訪れました。淡窓は、大病のため福岡の亀井塾を退塾し、廣瀬家で療養している頃でした。豪潮は肥後国玉名の出身で、天台宗の絵本山である比叡山で十余年厳しい修行をした高僧として知られていました。淡窓は、豪潮について「時に律師歳五十二・三なり。豪爽磊落(気性が優れて爽やかで心が広い様)の人にして、而も弁才あり。能く人情に通じ、人をして自然に帰依傾倒せしむ」と、その印象を語っています。羽倉代官が日田に招いて、大超寺や護願寺などを訪れ、民衆に加持祈禱を授けていました。そのため、淡窓も護願寺に一晚籠もっていましたが、熱心に加持を受けたのは、2歳年下の妹アリでした。淡窓が22歳のとき、流行の麻疹に罹った際、妹のアリが懸命に介抱します。アリは永興寺での豪潮の加持に行き、兄の命に代わることがを誓います。その翌日、加持が終わって、豪潮がアリを呼び留め「大衆の内には非常の大誓願を發する者があると感じたが、それは必ずあなたの心に在るのではないか」と言われ、子細を説明すると豪潮は大いに賛嘆したということです。淡窓の症状が落ち着くとアリは仏門に入ることを願いますが、祖母が許さず、豪潮の世話によって京都の宮中の官女風早局に仕えることとな



梵字岩(三隈川沿い)

ります。風早局はアリを妹分として秋子という名を与え、代理として宮中の正月儀式に参列させて、アリは間近に天皇を拝するなど寵遇されました。しかし、文化2(1805)年、淡窓が24歳、アリが22歳のとき、風早局が熱病に罹り、アリは手厚く看病しましたが、遂に亡くなりました。自身も感染して亡くなりました。廣瀬一家の嘆きは大きく、特に淡窓は「往年彼が予が命に代らんと誓ひしことあれば、此の度の死も予が為にせし様に思はれて、其の痛骨髄に徹せり。予生来死別の悲、是を以て第一とす」との悲痛な思いを述べています。アリ(秋子)の諡は、豪潮がつけました。淡窓は、アリ(秋子)を悼む長詩「孝弟烈女詩」を作っています。その意味は、父母に孝順、兄に憐愛、主君に義烈であったことと名付けたもので、大超寺の墓碑に刻まれています。現在も豪潮が作った梵字岩が三隈川沿いにあるほか、豪潮縁の石造物が日田市内に残されています。 ※律師とは、戒律に通じた僧のこと。

食生活改善推進員さんのおすすめレシピ

えびと野菜の中着煮



<作り方>

- ① 油揚げは熱湯を掛けて油抜きをし、水気を搾る。油揚げの1辺に包丁で切り込みを入れて袋状に開く。
- ② かぼちゃは長さ4cm×厚さ5mmのくし形、にんじんは厚さ5mmの輪切り、しめじは石づきを取って小房に分ける。むきえびは背ワタがあれば取る。
- ③ ①の油揚げに4等分した②の野菜と、むきえびを2尾ずつ入れ、袋の口を爪楊枝で留める。
- ④ 鍋に★と③を入れ、落とし蓋と鍋の蓋をして中火に掛ける。途中、上下を返して約15分煮る。

■材料■ (2人分)

- ・油揚げ 4枚 ・かぼちゃ 50g ・にんじん 25g ・しめじ 25g ・むきえび 8尾
- ★だし汁 150ml ★薄口しょうゆ 小さじ2 ★みりん 大さじ1強

うま味の染みだおいしい煮物です。年末年始のおもてなし料理としてもおすすめ！

☎健康保険課健康支援係 ☎3000 (ウェルピア)